

第18回 EMR/ESD研究会

低侵襲内視鏡治療の普及と新たな挑戦

会期: 2018年7月15日(日)

会場: シェーンバッハ・サボア(砂防会館別館)
東京都千代田区平河町2-7-4

代表世話人: 工藤 進英(昭和大学横浜市北部病院)

当番世話人: 貝瀬 満(日本医科大学付属病院 消化器・肝臓内科)

演題
募集

2018年4月3日(火)
～5月10日(木)

※演題応募方法は、公式サイトをご確認ください。

EMR・ESDは全消化管に対する低侵襲内視鏡治療として広く普及してきた。安全で確実なEMR・ESDの普及には、優れた治療手技の教育・普及と共に、偶発症回避のための器機や手技の工夫・開発が不可欠である。低侵襲治療の新たな展開・挑戦も続いている。Cold polypectomy, 食道全周ESDと狭窄予防、十二指腸腫瘍・表在型咽喉頭癌に対する低侵襲局所治療、LECSなどの様々な内視鏡・外科合同手術、管腔内視鏡による胃食道逆流防止術、などである。

低侵襲内視鏡治療の普及と新たな挑戦に関する手技や器機の工夫や開発について、多方面から多くの演題を期待する。

プログラム予定

- ミニレクチャー** 脱抑制させない安定した鎮静法 -プレセデックスの適正な応用- 局注可能な ESD デバイスの適正な使用法
- ミニワークショップ** 十二指腸腫瘍に対する低侵襲内視鏡 -その適応と治療法選択- cold snare EMR/polypectomy -Pros and Cons-
- 一般演題セッション** 上部消化管における低侵襲内視鏡治療の普及と新たな展開 下部消化管における低侵襲内視鏡治療の普及と新たな展開
- ランチョンセミナー** 胃食道逆流をどう防止するのか -内科治療・内視鏡治療の適応と限界-

単位

以下の単位を取得できます。

日本消化器内視鏡学会認定
専門医制度(出席2点/演者1点)

日本消化器内視鏡学会認定
技師制度(出席2点)